



発行所 秋田県 合川町役場 責任者 (広報係) 松橋新一 (勤務課 電話 4番・14番) (発行部数 2,700)

# 新年度の施政方針

## 人間的な共感の町民運動

### 三月定例町議会から



さる十日開かれた三月定例町議会において、山田町長は新年度の施政方針を次のように述べた。施政方針は町がごとし一年このように進みたいということをや草案の提出とともに町長が議会で述べたものであり、町民のみならずから深い理解と協力をいただき明るく豊かな町づくりへ着実に前進することを望むものである。

## 和合、建設を求めて

### 基本的に

私は、自主的、進取的であることはその結果において奉仕でなければならぬと思ひます。

自主的、進取的であることが、排他的、暴力的に帰結することになるとすればそれは、社会的な不幸であるとともにその個人の不幸でもあると思ひます。その意味で地方公共団体であるのが合川の職員はその町民を指導することが即ち奉仕に連なることによつてのみ町の和合と建設のひびきをその心に、そしてかたちに具現できるものと信ずるものであります。特に近來の地方的、所得的、文化的格差は更には同一地域における生活格差を拡大するおそれがあるときその税によって生活権が確立されている町職員の使命は自ら判然とするものであることを、年度の初頭にある

- 4月の主な予定
- ◇合川中学校入学式 = 1日
  - ◇東、西、南、北各小学校入学式 = 1日
  - ◇春の無火災運動強調週間 = 11日~17日
  - ◇合川高校入学式 = 11日

## 町民所得と町財政

合川町における昭和四十一年の町民所得は五億七千九百万円であり、そのうち、給与所得が三億五千七百七十九万八千九百九十九円、事業所得が一億五千八百五十九万二千八百七十九円、その他の所得が一億六千二百六十一万八千九百九十九円となつて、給与所得は出稼的所得の伸びが著しいことが見て取れる。反面、旧來の農業所得が占める総所得比は遂に三〇〇割を下回ることとなつたのであります。これはまさに日本経済の二重構造と東北農業の後進性を如実に表わしたものであり、その意味でわが合川町民生活は多難の途を歩まねばならぬことが継続されることと推定できるのであります。

## 国保と病院

国民健康保険事業は昨年度当初約五百萬円の赤字を予想されたが、七割給付を本年一月に延引し、税約三百萬円の特別助成を確保することによつて漸く軌道に乗り、昭和四十一年年度決算は黒字に転かんとする予想であります。新年度は七割給付が平年度化するに給付費の増が著しいので国保財政の均衡をはかるために約二千圓の税の引き上げを余儀なくされるものであります。近來国民健康保険制度の抜本的改正は地方六団体あげて政府に強力なる陳情を継続しており、制度の改正が漸次行なわれつつあるとともに、われわれが希望する被保険者負担の軽減の方向をとる気配がみられてきましたので、あらゆるところに協力を示し、この運動を更に強く継続するものであります。

## 町と部落の財産造成

昭和三十四年度から開始した町の財産造成事業は全しておるものであります。昭和三十一年度から開始した部落財産を対象とする町営林事業とあわせ、部落づくり、農民のための、近代的消費流通機関を近い将来の目標として四月一日から発足する合川町農業協同組合は指導は昨道相談所を開設したいと思ひます。モデル農家の設置と育成には充分配慮したいと思ひます。

## 町民生活のモラル

農業振興については、農業経営ならびに技術の指導態勢の強化をはかり、農繁期の営農指導は昨道相談所を開設したいと思ひます。モデル農家の設置と育成には充分配慮したいと思ひます。

## 農業施策

農業振興については、農業経営ならびに技術の指導態勢の強化をはかり、農繁期の営農指導は昨道相談所を開設したいと思ひます。モデル農家の設置と育成には充分配慮したいと思ひます。

## 災害復旧事業

新年度は李岱頭首工農業用施設及び下業栄水路災害復旧事業が昨年度を失って着工できなかったため、川井水路災害復旧事業とあわせ三件、約二千万円を計上実施します。若川河川土木災害復旧事業は約一千二百八十万円計上したものと町営事業としては規模が大きいので財産の確保に充分の留意をしてその完成を期するものであります。また河川災害の復旧事業は特に昨年度六千七百円余の進捗があったが、新年度は羽根山沢川の継続事業のほか、阿仁川、小阿仁川の各個所の着工促進を強力に陳情するものであります。

## 町と部落の財産造成

昭和三十四年度から開始した町の財産造成事業は全しておるものであります。昭和三十一年度から開始した部落財産を対象とする町営林事業とあわせ、部落づくり、農民のための、近代的消費流通機関を近い将来の目標として四月一日から発足する合川町農業協同組合は指導は昨道相談所を開設したいと思ひます。モデル農家の設置と育成には充分配慮したいと思ひます。



## 新年度予算きまる!!

—総額 240,620,000円—

前年比 34,361,000円の増

昭和四十一年度予算案をはじめ、各議案(十三件)を審議する町議会三月定例会は去る十日招集され、会期を十九日まで十日間と定め、連日慎重な審議の結果、連日慎重な審議の結果、いづれも原案どおり可決、鎌沢公民館を無償還元されたことなど五件の請願を採択した。

なほ、山田町長はこの議会で別項のとおり新年度の施政方針と予算の概要について説明したが、四十一年度当初予算の総額(一般、特別各会計とも)は二億四千六十二万二千円となり前年度の当初予算にくらべ三千四百三十六万一千円の増となっている。

# 議員定数の減少など

## 三月定例会の審議から

町議会三月定例会は、去る十九日、十日間の日程をもち開会されたが、この会期では、昭和四十一年度予算をはじめ議会議員ならびに農業委員の定数を減らすことや南支所の廃止などの条例が可決された。その主なものは次のとおりである。

### 議会の議員の定数を減少する条例

(これまでの二十六人の定員を四人減少して二十二人とし、次の一般選挙から適用すること。この議案は議員提出されたものである)

農業委員の選挙による委員の定数条例の一部改正

(農業委員の選挙による委員の定数をこれまでの二十人から十五人に減少し、次の一般選挙から適用すること。なお任期満了による農業委員の改選はこの七月の予定である)

### 議会議務局設置条例

(町議会の事務局を置くための条例)

合川町簡易水道布設工事分担金徴収条例

(町が行なう簡易水道布設工事に必要な経費に充てるため、受益者から徴収する分担金に関する条例)

町道の認定

中学校線(李岱)四六五号  
天甫線(上杉)一五四号  
小堤一号线(下杉)一五〇号  
小堤二号线(同)一六二号

### 諸会合での婦人の服装を改善しよう

小中学校や保育所等のPTA、卒業式、入学式その他婦人団体の諸会合に出席するための婦人の服装が華美になりすぎて服装を調えられない層から経済的なことで悲鳴をあげる人々が出てきている。昨今の風習は、生活改善の面からみても町民教育の面からみても重要なことで諸会合ではもちろんの事となって表われている。町では、二十三日、町長、町助役、収入役、教育長がこのことで会議を催し制服(上質のもの)をきめてあらゆる集会にはこぞって参加できるように統一したものにしたらどうかと結論を出し、早速関係婦人団体や社会教育機関と話し合いをすることにきめた。

### 役員を改選

合川町農業共済組合では三月十八日午後二時から産業会議室で臨時総代会を開き、任期満了にともなう役員改選を行なった結果、次の各氏が選ばれた。

理事(十名)  
村岡 春蔵(前) 八幡橋 桜庭 吉郎(新) 芹 沢 永井 常治(前) 上 杉 成田 幸一(前) 李 岱 斎藤 定一(元) 新田 目 福田 勇一(新) 鎌 沢 桜井 与之助(前) 下 杉 藤島 伊八郎(前) 木 戸 石 吉田 忠太郎(新) 川 井 松橋 彦左衛門(新) 三 里

監事(四名)  
桜田 亀吉(新) 東根 田 森岡 友治(前) 道 城 成田 安茂(新) 増 沢 金田 一蔵(新) 羽根山

## 一面からつづく 県道の見とおし

県道では第一種改良事業として川井町間七百六十メートル、公共舗装事業として木戸石地内三百八十メートル、李岱地内千五百メートル、積集事業として増沢地内五百メートル、八幡橋地内四百メートル、川井地内四百メートル、三木田地内四百メートルが予定されておられます。

### 併用林道について

国有林の森林軌道廃止に伴う併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

### 民生安定施策

合川町における生活保護世帯は九十八世帯(一月末現在)となっており、全世帯帯四・五割であり、ポーターライン層はその数倍にのぼっております。まさに社会のひずみに苦悩する家庭とその個人に対して旧に倍して福祉全般にわたって町民のあたたかい気持を寄せ合うことを必要としていっております。

### 職員の派遣

町商工会は漸くその活動が活発化してきたので、わが町の商工業に寄与する力を充分發揮できるように町職員を一名派遣しました。

合川町農業協同組合の助成は百四十万円計上し、更に場合によっては、技術職員を設立するに限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

### 地方振興

阿仁合線の完全デセル化運動は、私が町村会長として当面の責任者になり、今年十月を期してその実現の可能性が強く、それに伴って本線接続の合理的な解決が期待されます。

合川高等学校は鉄骨体育館の完成と武道館の建築が計画され、当町から核井議長と私が委員としてその推進にあたり、今年、今秋には全校の面目を一新することになっております。また、鉄道踏切事故防止のために自動警報機が四方所に設置促進の陳情中であり、大野台愛生園は増築され、更に二十五人の入園が予定されており、将来コロニー化も夢ではないと思っております。

### 人間の共感の町民運動

私は、人間尊重は空文ではなく、やはりあくまでも具体的な生命と財産の尊重でなければならぬと思っております。

そのためにまず、第一に全町民誰もが心配することのうち、昨年の数々のいたましい交通事故の轍を踏まないための交通安全運動と昨年の年間住家無火災の金字塔をたてた町民総参加を提唱するものであります。

この二つの運動は常時啓発のかたちで展開され、あらゆる家庭、あらゆる機関、団体、集會、建物、車両、ボスター、広報等、町民の合言葉による交通安全と無火災運動を呼びかけるものであり、その具体的推進は町議会と町民老若男女すべての人々の声となつて巷に拡がるものであることを念願して結びとします。

### 教育の振興

合川町の教育は地域的、建物的から次第に教育的な面から育効果的なものへの関心が高まりつつあり、特に前年度開設した教育研究所の成果は、新年度において相当の進歩がみられると信じています。

合川町の教育は地域的、建物的から次第に教育的な面から育効果的なものへの関心が高まりつつあり、特に前年度開設した教育研究所の成果は、新年度において相当の進歩がみられると信じています。

### 町道の維持災害復旧ならびに除雪

町経済課所属のトラックは積込のみに限らず、人夫の雇傭が困難な場合、これを売却し別に道路補修砂利購入費約五十万円を計上し、これにかわり現場連絡用ジョブを購入することとし、更に拡声器設備も供して町道農業相談の用に供し、運用を効率的に行なうためにも、広報車として活用し、交通安全、防災宣伝、公民館等にも活用させる方針であります。

町道の橋りょう道路の補修及び災害復旧等は昭和四十一年度補正予算に合計百八十万円を計上いたしました。

町道の除雪費は昭和四十一年度の補正で合計四十三万円余となり、未だ充分でないのが、新年度にはその予算及び方法等について町の出稼者数は農業セン

### 併用林道の認定について

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

併用林道の認定については地域住民生活とその地域開発に重大な関係があるため、特別に委員会を構成し、検討中であり、その基本には協力することとし、細部、営林局と協議を重ね、合意の線が出れば当初の一年間に限り派遣することも検討中であり、追加提案もあり得ると思えます。

町では三月三十一日第十一回目の町制施行記念日にあたり、午前十時から合川劇場(李岱)で記念式を行ない、町政に功労者二名と二団体および優良納税者四十七名、国民健康保険事業優良協力者八十七名を表彰することになった。

### 鎌沢の二団体等を表彰

#### 第十一回町制施行記念日に

三月三十一日は去る昭和三十一年、四カ村から一つの新しい合川町として発足した記念すべき誕生の日であり町では町制施行記念の式典を行ない、町内児童福祉の向上に功績のあった佐々木、魚谷の二氏及び町内開田事業の先鞭となった鎌沢開田施行及び町内唯一の基盤整備事業(区画整理)を成し遂げた川井土地改良区の二団体を優良団体として表彰するほか、連続して町税を完納し町づくりに協力している人々四十七名(十五名、四十六名、十年、十八名、五年、一六八名、一年、一三三名)を優良納税者として、さらにこの一年間健康にため医療費をかけずにかつ国民健康保険税を完納して国保事業に著しく貢献している八十七名を国保事業



佐々木徹堂さん (木戸石)

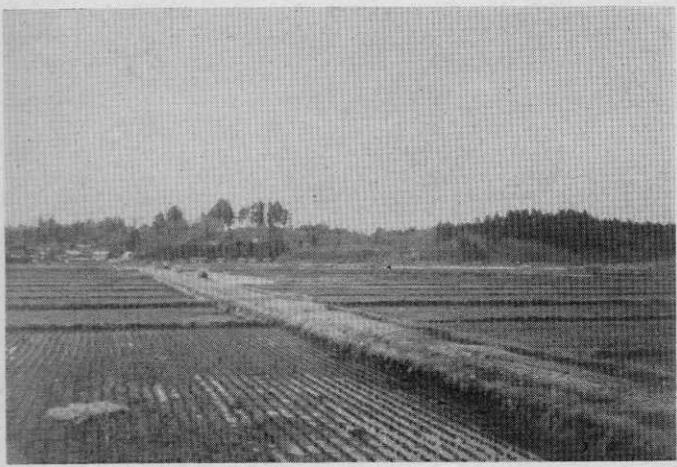


魚谷弾法さん (上杉)

優良協力者として表彰する  
△町政功労者  
保育のため昭和二十九年杉の子幼稚園を開設、昭和三十一年町立東保育園開園長となり、幼児保育につとめる  
その外、司法保護司、社会教育委員、児童民生委員などをとつとめ地域の福祉向上に大きな功績を残された  
佐々木さんは、昭和三十三年から司法保護司として活躍、昭和三十一年町立北保育所が開設されるや所長となり幼児保育にあたる。  
その外郡社協理事、郡青少協理事などもつとめ地域の児童福祉向上に大きな功績を残された。

△優良団体  
鎌沢上野林台地区  
開田事業共同施行  
(委員長 福田宮松氏)  
灌漑水をポンプ揚水に求める新しい開田方式としてその成果に注目されていた鎌沢部落の上野林台地区の開田は、いまでは既耕地をすのぐほどの収穫をあげ関係者の努力が見事に実を結んでいる。  
この地帯はもとと山林と山畑であったがなだらかな傾斜地であり早くから水

田としての可能性が論議されてきたが、昭和三十三年、四年関係者による話し合いが急速に高まり昭和三十五年十月、農林漁業資金の融資単独事業として着工、翌三十六年七月月上旬には九町六反歩の水田が完工され第一回の植付が行われた。  
初年度は植付時期が遅れ病害の発生や苗不足などから期待の収量がなかったがその後は順調な出来ばえをみせ既耕地におとらぬ収穫をあげている。  
そこには、二十数年來の懸案事業であった開田工事にあらゆる悪条件を克服しながらまとめあげた関係者の労苦がすのぐばれ町内初の開田事業推進地区として長けたえられるものである



写真一関係者の努力が見事に実を結んでいる農地 (上)鎌沢の開田 (下)区画整理された川井の水田

### 地域開発に期待

#### 合川町農協が発足

農家の経済を向上し、地域の発展に大きな期待をもたれた。歴史的な発足の運びとなった。

落合、上大野、下大野の三農協では、去る一月三十日それぞれの組合総会を開き昭和四十一年三月三十一日をもって三農協を解散し新たに合川町農業協同組合を組織することを満場一致をもって決議していたもので、安部松五郎氏(旧落合農協組合長)を設立委員長に選び、新組合設立のための行政庁の認可申請や合併登記など所要の手続きをすすめていたもので、本所事務所を旧上大野農協駅前出張所に置き、李岱、上杉、木戸石の旧農協本所を支所として運営することになった。新組合の規模は、組合員数や米の売渡量をはじめと

### 昭和41年度の新予算

(一般会計) (単位千円)

【カツコ内は前年度当初予算に対する増減 △印は減】

歳入		歳出	
1 町	税 32,790	1,589	
〔主なる税の内訳〕			
町民	税 6,249	634	
町定	資産税 13,975	221	
町固	自動車税 1,348	232	
町軽	消費税 4,490	61	
町た	ガソリン税 2,002	104	
町電	材ガ取 4,725	337	
町臨	時方特例交付金 742	742	
町地	方交交付税金 76,000	12,900	
町分	担金及び負担金 2,466	327	
町使	用料及び手数料 873	180	
町庫	庫支 15,780	4,607	
町国	庫支 18,627	14,952	
町寄	財支 262	△1,758	
町寄	線支 7,803	5,815	
町諸	諸支 1	△11,701	
町諸	諸支 2,922	5,000	
町諸	諸支 13,100	△50	
町諸	諸支 171,366	32,603	

歳入		歳出	
1 議	会費 7,951	1,507	
2 総	務費 39,828	5,749	
3 民	生費 18,410	3,328	
4 衛	生費 3,562	1,286	
5 農	費 203	3	
6 林	水産費 9,636	1,503	
7 商	工費 1,150	896	
8 土	工費 7,220	△2,681	
9 消	費 4,149	284	
10 教	費 28,828	△7,279	
11 災	費 32,892	26,124	
12 公	費 13,630	804	
13 諸	支 3,207	1,079	
14 予	支 700	—	
	171,366	32,603	

### 新組合長に 佐藤一郎氏

合川町農協 新発足する合川町農業協同組合の組合長、副組合長をそれぞれ佐藤一郎氏(旧上大野農協組合長)と副組合長には安部松五郎氏(旧落合農協組合長)を専務理事に杉淵武一郎氏(旧下大野農協組合長)、代表監事に松井喜一郎氏(旧上大野農協代表監事)の各氏を選任した。

### ご芳志に感謝

社会福祉協議会 逝去の方々から御親族のつぎの方々から御親族の死去に際する香典返しに代えてご寄付いただきました町協のたすけ合い資金として役立たせていただきました。

### 夫婦で月一万円 の年金が実現

ことしは一はとくに重い障害の場合は年金額の引き上げをはじめ国民年金制度のしくみを大幅に改正するが、去る一月十三日に国の予算案が決定し、これによってこの法律改正の内容が裏づけされま

### 合川町史 郷土のあゆみ

予約受付け 町郷土誌として編さん急いでいた「合川町史」郷土のあゆみは、いよいよ町誕生の日にあたる三月三十一日発行されることになった。合川町史「郷土のあゆみ」は、町の現代型に力があった町民の父祖に感謝の意を表わし、子孫にその意義を承継するために町制十周年記念事業として編さんされたもの

合川町長 佐野氏

国鉄秋田管理局の異動によって当合川町長須藤宏氏は協本部長に転出、かわって神代町長だった佐野利秋氏が着任している。

合川町長 佐野氏

国鉄秋田管理局の異動によって当合川町長須藤宏氏は協本部長に転出、かわって神代町長だった佐野利秋氏が着任している。

合川町長 佐野氏

国鉄秋田管理局の異動によって当合川町長須藤宏氏は協本部長に転出、かわって神代町長だった佐野利秋氏が着任している。

# 進学七七% 就職二二%

## 合川中学校 卒業生の進路

ことしも雪九九年の卒業をおえた二百九十四名の若人たちが、進学や就職にと合川中学校の学窓をあとに社会へ巣立った。合川中学校が開校されたのは、つい先年の感があるが、もう六回目の卒業生となっている。これらの若人たちが、これからどのような進路をたどっているのかそのゆくえにスポットをあててみた。

### 就職の多くは

### 東京・中京方面

ことしの卒業生は二百九十四名、うち男子は百四十四名、女子は百五十名、その内訳は男に比べて三倍近くになっている。就職先は、県内の場合、各種学校を含む進学希望者が六十七名、全体の七十七名が進学組で男女合わせて二百二十五名、そのうち八十八名は、それぞれ二十名が全日制高校、また予定である。また県外の場

就職先は、県内の場合、男子が六名、左官職などの見習い、女子は店員が多い。鷹巣町に誘致される業

屋被服KKへ三名が入社の

二百名が全日制高校、また

予定である。また県外の場

合では男子が京浜地区の機

械電気等の工場関係、女子

は中京方面の紡績関係に決

定しているという。

就職希望者は六十三名で

卒業生の二十二名、男

別では男三十三名(県内

名とわすれず五名にすぎない

名(県内八、県外二十二)

と模様である。

就職希望者は六十三名で

卒業生の二十二名、男

別では男三十三名(県内

名とわすれず五名にすぎない

名(県内八、県外二十二)

と模様である。

### ご入学おめでとう

#### ことしの新入生

この四月一日、百七十一名の児童たちが町内の四小中学校へ入学されます。もう何日たれば学校だぞと子供たちの喜び、そして送り出す保護者の皆さんおめでとうございませう。どのこも皆な元気で入学ください。

#### 合川東小学校

【道城】 松橋茂久、松橋寿志、松橋亮浩、松橋克敏、小林博光、今泉智、森岡照雄、松橋トキ子、津幡紀子、森岡由紀子

#### 合川西小学校

【李岱】 平川広吉、木村寛、成田一、長谷川清子、成田美和子、木村弘子、成田睦子

#### 合川南小学校

【杉山田】 伊藤久美子、伊藤信孝、杉山メイ子、田中大、福田益美、福田喜美子、加藤美智子、鈴木早喜子

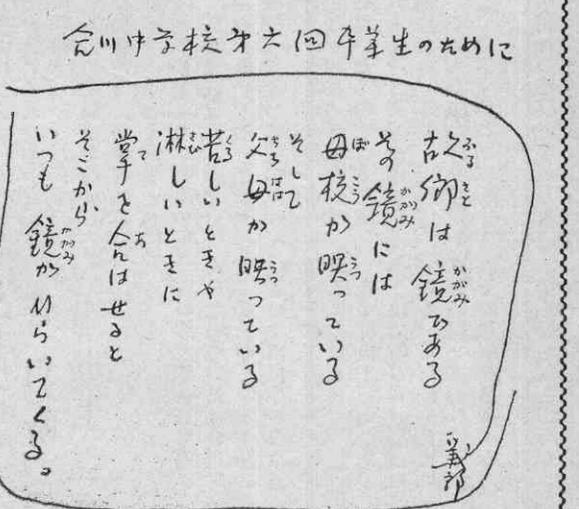
#### 合川北小学校

【八幡岱】 伊勢民主則、柴田優子、柴田尚子、高橋万亀子、藤田幸子

### 社会へ巣立つ 若人をはげます = 就職者激励会 =

(鹿角二二) (鷹巣二二) (秋田二二)

町公民館で、去る十六日午後一時から産業会館に、おとし中学校を卒業する人たちの就職を激励する人たちの激励会を開いた。希望と夢をいだきながら、実社会へ飛び立つ意欲にも、出る男女五十五人の若人が、校長から「これからは父母のものを離れ、学友とも別れて職場をもつ皆さんには、日々全ての新しい環境に、苦しい時でも自分の力で行かなければならぬ。決して行かなくてはならぬ。せんが、合川中学校卒業生として、これまでに鍛えた自分と確信をもち、貧しいながらも皆な故郷合川をわすれずに頑張ってください」



合川中学校卒業生のため

故郷は鏡がある、その鏡には、母校が映っている。若しいとき、淋しいとき、夢をいぼせると、心か、いつも鏡をみらう。

カットは、島山町長が卒業生に贈った詩である。

### よい品種を選び 健康な稲づくり

ことしも苗代作りの季節となりましたが、昨年の障に植付けることが肝心です。また、同一品種ばかり種類の選定や床作りなど十分注意いたしましょう。

安全な品種を選ぶこと。出穂期のはやい品種は、おそすぎる品種は秋の稔りの期間の温度が不十分となり減収します。当地方で最も安全な出穂期は、八月五日から八月十五日までであり、この期間に出穂するような品種を選ぶことも、本田へ植付けできるよう苗代作業をすすめましょう。

### 町政メモ

- 3月1日 例月監査
- 2日 合川駅前飲送迎会
- 5日 町長予算査定
- 10日 定例町議会開会
- 12日 議会本会議、大野台高等農業学園卒業式
- 14日 合川高校卒業式
- 15日 合川中学校卒業式
- 16日 議会常任委員会、就職者激励会、母子家庭中学卒業生激励会
- 17日 議会常任委員会、西保育所卒園式
- 18日 議会常任委員会、各小学校卒業式
- 19日 定例町議会開会、北保育所卒園式
- 20日 北保育所卒園式
- 22日 町三役、教育長会議
- 23日 青少協幹事会
- 25日 民生委員会

### なつかしい春

きびしかった寒さも日一日とやわらぎ、土手の黒い土肌から、落のとうが青い顔をのぞかせ、川辺にはねこやなぎがふくらむ。なつかしい春がすぐそこまでやって来ている。  
【阿仁川の流水=川井地内にて】